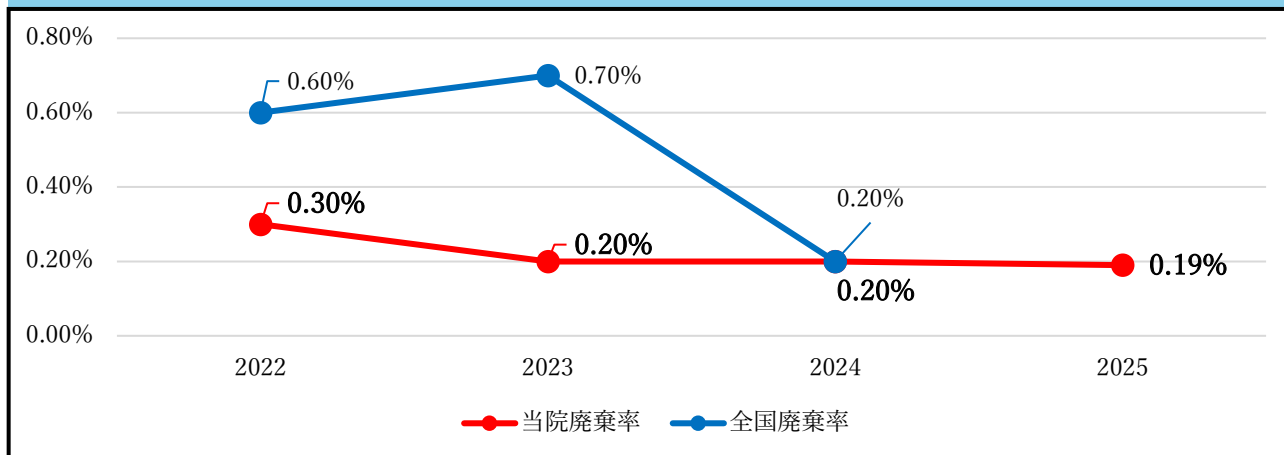
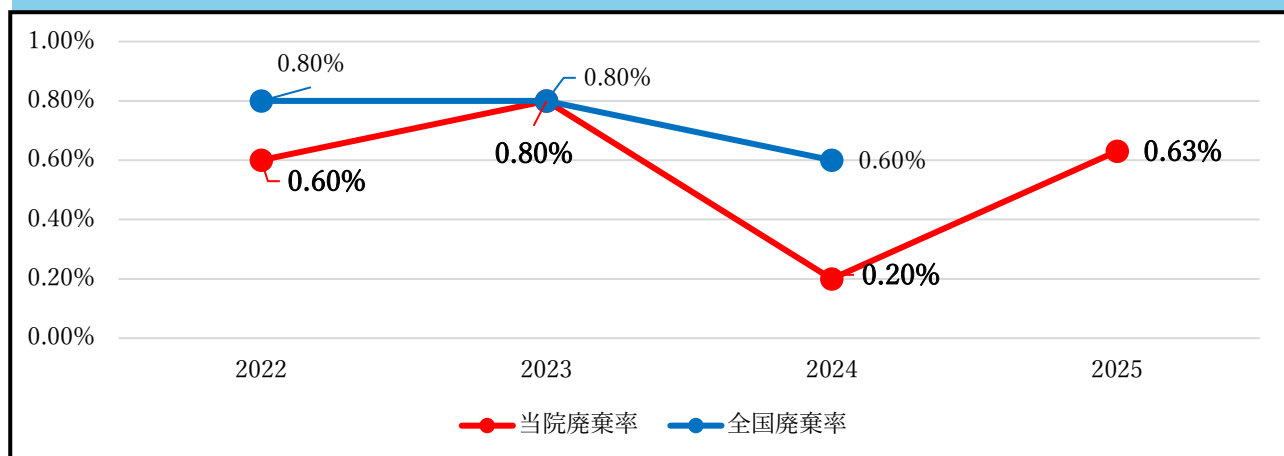


## 14. 血液製剤廃棄率

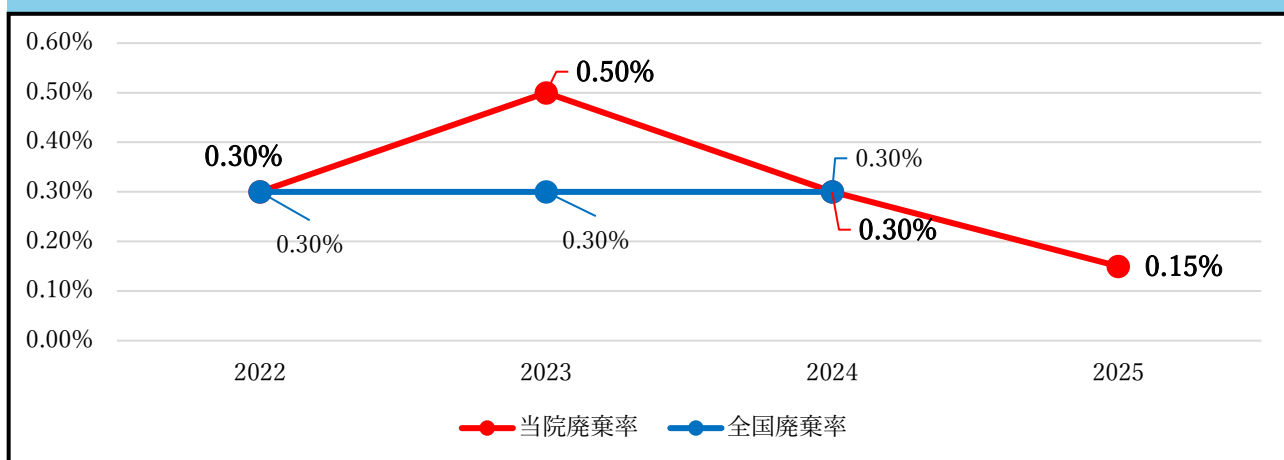
### 赤血球廃棄率



### 新鮮凍結血漿廃棄率



### 濃厚血小板廃棄率



※全国廃棄率は10月開催予定全国大学輸血部会議にて公表されるため、2025年度データは未記入

## ➤ 指標の説明

当院における各血液製剤の使用量に対する有効期限切れ、使用期限切れ、破損等による廃棄が必要となった製剤の割合です。

## ➤ 定義

### 【血液製剤廃棄率】

分子：廃棄量

分母：使用量+廃棄量

## ➤ 評価

2025年度の当院赤血球廃棄率は0.19%で、前年度(0.20%)から微減し低水準を維持した。全国値(直近:2024年度0.20%)とも同等水準で推移しており、適正使用の推進や在庫管理の取り組みは一定の効果を示している。新鮮凍結血漿(FFP)は当院0.63%で全国(2024年度0.60%)と同程度だが、当院前年差で増加しており改善余地がある。濃厚血小板は当院0.15%で全国(2024年度0.30%)を下回り、適正使用の推進の取り組みが奏功した。今後はPDCAにより、FFPの廃棄理由を分類・可視化し(Plan)、解凍判断や使用中止等の早期連絡体制の構築・転用調整を標準化(Do)し、輸血療法委員会にて廃棄数や廃棄理由の報告・評価(Check)を行い、運用を見直して定着(Act)を図るものとする。